

2019年度 中山間農業研究所 研究課題一覧表

①作物分野

番号	部署	課題名	課題区分 (主管課) 研究期間	概要
1	本	飛騨エゴマの機能性に特化した新商品開発と総合技術開発	プロジェクト (産業技術課) H28～32	エゴマの新品種育成及び生産性向上のための栽培技術を開発する。 エゴマ油の運動能力向上効果を活かした新商品を開発する。
2	本	夏期高温に対応した水稻品種の育成と良食味栽培技術の開発	プロジェクト (農政課) H29～33	高温登熟性に優れる「岐系203号」の高品質栽培技術の開発と現地適応性を検討する。また、「たかやまもち」「ひだほまれ」に穂発芽耐性を導入した品種をDNAマーカーを活用して育成する。
3	本	食味向上に向けた飛騨「コシヒカリ」の安定栽培技術の開発	重点 H31～35	可給態窒素に基づく基肥基準を策定する。 人工衛星やドローンを活用したセンシング技術による生育診断に応じた施肥管理技術を開発する。
4	本	飛騨ブランド「ひだほまれ・たかやまもち」の生育環境変化を踏まえた高品質生産体系の確立	地域密着 H29～31	近年の温暖化に伴う環境変化に対応した栽培体系を再構築するため、施肥及び移植時期の違いが収量や品質に及ぼす影響を明らかにする。
5	本支	岐阜県産米を利用した新しいブランド品目の開発	地域密着 H29～33	大吟醸用品種及び美濃平坦地向け醸造品種を育成する。
6	本	稲出願品種栽培試験委託事業(種苗管理センター)	外資 H31	出願品種を栽培し、その重要な形質に係る特性を調査し、対照品種との区別性、均一性を明らかにする。

②野菜分野

1	本支	生育状況や気象等に応じた最適環境制御技術の開発 ICTを活用した夏秋トマト多収栽培システムの生産性向上	プロジェクト (農政課) H31～35	低コスト栽培システムを開発する。 低コストな環境制御技術を開発する。 現地実証試験を通じて技術確立を目指す。
2	本支	夏期冷涼な気候を生かした野菜産地における地球温暖化対策技術開発	プロジェクト (農政課) H30～33	温暖化により多発している夏秋トマトの放射状裂果及び夏穫りホウレンソウの育成不良を回避するための対応技術を開発する。
3	本	雨よけホウレンソウの施肥改善	重点 H27～31	年間4～5作の窒素収支を明らかにし、科学的根拠に基づいた合理的な施肥体系を構築する。
4	支	夏秋ナス「独立袋栽培」の高収量・省力・安定生産技術の確立	重点 H28～31	県オリジナルの夏秋ナス独立袋栽培により、ナス主要品種に対応可能で、早期からの安定生産な栽培システムを開発する。
5	本支	中山間地域における果菜類の安定生産、省力化技術の開発	地域密着 H31～35	低段の果実肥大に及ぼす要因の解明(夏秋トマト) 大規模な栽培に対応した仕立て方法の開発(夏秋ナス)
6	本	夏ホウレンソウの難防除害虫・雑草の総合防除技術開発	地域密着 H30～34	夏ホウレンソウにおけるコナダニ類の防除技術及びゴウシュウアリタソウの対策技術を開発する。

③花き分野

番号	部署	課題名	課題区分 (主管課) 研究期間	課題名及び概要
1	支	フランネルフラワーの出荷予測アプリ等の開発 ・生育コントロール技術を利用した中山間地向き栽培システムの開発	プロジェクト (農政課) H31～35	養水分や日射量等を自動制御する技術を開発する。 中山間地向き切花フランネルフラワー作型を開発する。
2	支	国際社会に向け「ぎふ」をアピールできる輸出向け新花き品目の育成	プロジェクト (産業技術課) H27～31	新しい鉢花品種として、耐寒性宿根草や新形質シクラメンの育成と、新しい栽培システムでの栽培技術を確認する。
3	本	「飛騨黄金」の長期安定出荷技術体系の確立	地域密着 H29～33	8月中旬から出荷できる「飛系菊4号」を育成し、飛系菊1号～4号のシリーズ化による長期連続出荷体系を構築する。
4	支	シクラメン等中山間地鉢花のブランド化と生産安定	地域密着 H29～33	黄色系シクラメンの新品種を育成する。 トルコギキョウの鉢花化による新商品を開発する。

④果樹分野

1	本	飛騨・美濃伝統野菜「高原山椒」の生産安定と新商品の開発	プロジェクト (産業技術課) H27～31	在来種の中からは有望系統を選抜する。 晩霜害や凍害の軽減技術を開発実証する。 また高原山椒を使用した新商品を開発する。
2	支	熟成技術によるクリ新品種の商品展開	プロジェクト (産業技術課) H27～31	温暖化による夏期の高温、少雨条件がクリに及ぼす影響と、その対応技術を検討する。 主要品種を用いたクリ果実の低温及び加熱による熟成貯蔵技術を開発する。
3	本	夏期冷涼な気候を生かした果樹産地における地球温暖化対策技術開発	プロジェクト (農政課) H30～33	温暖化により多発が予想されるリンゴの日焼け果及びモモの果肉障害を回避するための対応技術を開発する。
4	本	飛騨地域に適したモモ、リンゴ等の品種選定と栽培技術の開発	地域密着 H29～33	モモの輸出に適した晩生品種を選定する。 リンゴの有望品種選定と障害果軽減技術を開発する。 ヤマブドウの受粉樹選抜と新商品を開発する。
5	支	クリ新品種育成及び有望品種選定と「えな宝来」「えな宝月」「ぼろたん」の安定生産技術開発	地域密着 H29～33	クリの新品種育成と国育成系統の地域適応性を検討する。 当所育成「えな宝来」「えな宝月」の安定栽培技術を開発する。 「ぼろたん」の黒変果対応技術を確認する。